

一般社団法人日本家族看護学会  
2026年度 第1回定時社員総会 議事録

日時:2026年5月31日(日)14:00-15:00

場所:Zoomによる開催

参加者(敬称略・順不同):

理事/社員:荒木 暁子、河原 宣子、浅野 みどり、上別府 圭子、山本 則子、荒木田 美香子、深堀 浩樹、  
本田 順子、長戸 和子、藤井 淳子、山本 真実、相墨 生恵、池添 志乃、池田 真理、  
伊東 美佐江、井上 玲子、内 正子、瓜生 浩子、影山 葉子、門間 晶子、小林 京子、  
今野 美紀、佐藤 伊織、杉浦 太一、鈴木 和子、野間口 千香穂、古瀬 みどり、法橋 尚宏、  
涌水 理恵

監事:石垣 和子、泊 祐子

幹事:高山 充、河村 江里子

事務局:幸野 晶、北川 瑞季

### I. 開会の辞

- ・荒木理事長より、開会の挨拶があった。
- ・浅野理事より社員48名のうち、社員総会開催までに委任状の提出者11名、議決権行使者2名の連絡を受けており、社員総会開始時における社員の出席者は31名となり、全社員の過半数を満たしており、定款22条に基づき、定時社員総会は成立した旨が説明された。
- ・定款20条に従い議長は荒木理事長が務めることが説明された。

### II. 議事録署名人選出

- ・理事定款第23条により、社員総会の議事録には議長と社員総会において選任された議事録署名人が記名押印または署名することと定められている。自薦・他薦はなかったため、議長より、影山葉子氏と杉浦太一氏の推薦があり、議事録署名人を務めることとなった。

### III. 決議事項

- ・荒木理事長より、決議は、Zoomの投票機能を用いること、1号議案から5号議案までであるが、投票数の集計を円滑におこなうため、1議案ごとに決議を行うことの説明があった。

#### 1号議案 2025年度決算報告および監査報告(資料1)

山本真実理事より、2025年度の決算報告がされた。その後、石垣監事より監査報告がされた。

- ・投票(Zoom)の結果、「1号議案 2025年度決算報告および監査報告」については、事前の委任状と議決権行使を含め、賛成44票、反対0票となり、過半数の賛成が得られたため承認された。

#### 2号議案 2025年度事業報告(資料2)

各委員会委員長より各委員会の活動報告があった。

・山崎理事(編集委員会)に代わり浅野理事より、機関誌(第31巻)発刊、学術集会でのセッション開催、学会誌に対する問い合わせ対応、会員向けオンデマンド講義配信、学会誌編集上の課題の検討を行ったことが報告された。

・上別府理事(研究促進委員会)より、「家族看護学のトライアングル(研究-実践-教育促進)」をテーマに、委員会セミナー・シンポジウム等を開催、第11回日本家族看護学会研究奨励賞受賞論文の選考・表彰、Journal of Family Nursing(JFN)とのアブストラクト交換しJFN5月号および学会誌に各5本掲載されたことが報告された。

・藤井理事(実践促進委員会)より、第32回学術集会にて家族看護ケアガイドの報告会を開催、研究促進委員会との合同企画の実施、家族支援専門看護師による「よろず相談」開催、家族看護グッドプラクティスアワード2025を実施したことが報告された。

・長戸理事(教育促進委員会)より、家族看護の教育ツール【現任教育版】の活用促進のため電子コンテンツ作成に着手、家族看護の教育ツール【基礎教育版】の開発に関する活動を継続実施、家族看護教育セミナーの開催、第32回学術集会委員会企画を行ったことが報告された。

・本田理事(国際交流委員会)より、諸外国の家族看護学学会・研究機関との交流・ネットワークを構築、会員向けの国際交流活動支援・情報提供、第17回 International Family Nursing Conference(IFNC)と日本家族看護学会(JARFN)の共同企画の実施、国際交流委員会セミナーの開催、ニュースレターの発行、JARFN メールマガジンでの報告、会員向け International Family Nursing Conference(IFNC)に向けた国際学会発表助成を実施することが報告された。

・荒木田理事(広報委員会)より、随時HPの更新、メールマガジンの発行、ウェブニュース第21号の発行を行った、会員獲得に向けて他学会での広報を行ったことが報告された。

・深堀理事(社会活動・政策委員会)より、看護系学会等社会保険連合の開催する会議体への参加および研究助成金への申請(結果は不採択)、診療報酬・介護報酬の改定に向けた意向調査への回答、社会活動政策に関わる情報収集を継続的に実施、他看護系学会との情報交換およびエビデンス構築の在り方の検討、診療報酬・介護報酬における提言の在り方の検討を行ったことが報告された。

・河原理事(災害対策委員会)より、グランドデザインを踏まえた実践促進委員会との合同企画を第32回学術集会で実施されたことが報告された。

・山本則子理事(将来構想委員会)より、CNS・NP 養成の教育カリキュラムに関する全国調査、評議員による活動助成事業の支援を行ったことが報告された。

・浅野理事(総務委員会)より、学会事業の推進に関わる諸活動、委員会活動の補佐、第32回学術集会における日本乳幼児医学・心理学会との共催シンポジウムを実施、社員総会・会員集会・理事会等の会議体の運営および統制、総務委員会の開催、定款・内規・細則等の規定の整備・管理、学会事務局との連携、選挙管理委員会との連絡・調整、名誉会員の推薦を行ったことが報告された。

・浅野理事(利益相反管理委員会)より、本学会および会員・役員・各種委員・学術集会長等の活動に関わる利益相反の適切な管理のため、COI申請書の集約等を実施したことが報告された。

・荒木理事長(Covid-19 調査研究プロジェクト)より、WEB アンケート調査を計5回実施(量的研究)、質的調査①の実施およびホームページへの結果掲載、質的調査②の実施および調査終了し、2026年度中に結果掲載完了予定であることが報告された。

・長戸理事(選挙管理委員会)より、役員選挙スケジュールの検討および社員総会での告示、名簿を作成し、選

挙を実施、諸否の意向確認、理事会への結果報告を行ったことが報告された。

・投票(Zoom)の結果、「2号議案 2025年度事業報告」については、事前の委任状と議決権行使を含め、賛成42票、反対0票となり、過半数の賛成が得られたため承認された。

### 3号議案 2024～2025年度 理事および監事の解任(資料3)

荒木理事長より、資料3に基づき、2024～2025年度理事および監事の解任が報告された。

・投票(Zoom)の結果、「3号議案 2024～2025年度 理事および監事の解任」については、事前の委任状と議決権行使を含め、賛成44票、反対0票となり、過半数の賛成が得られたため承認された。

### 4号議案 2026～2027年度 理事および監事の選任(資料4)

荒木理事長より、資料4に基づき、2026～2027年度理事および監事の選任が報告された。

・投票(Zoom)の結果、「4号議案 2026～2027年度 理事および監事の選任」については、事前の委任状と議決権行使を含め、賛成43票、反対0票となり、過半数の賛成が得られたため承認された。

### 5号議案 名誉会員の選任(資料5)

荒木理事長より、資料5に基づき、名誉会員3名の選出について報告された。

・投票(Zoom)の結果、「4号議案 2026～2027年度 理事および監事の選任」については、事前の委任状と議決権行使を含め、賛成44票、反対0票となり、過半数の賛成が得られたため承認された。

## IV. 報告事項

### 1. 委員会報告 2026年度活動計画(資料6)

河原副理事長より 2026年度活動計画について報告された。

・編集委員会:委員会の開催、学会誌第31巻の刊行、学会誌に関する問い合わせ対応、学術集会でのセッション開催、学会誌編集上の課題の検討が予定されていることが説明された。

・研究促進委員会:家族看護学研究セミナーの開催、実践促進委員会との共同による研究-実践-教育促進の検討、研究奨励賞に関する検討を予定していることが説明された。

・実践促進委員会:第33回学術集会にて3場面別家族看護ケアガイドの報告会の開催、第33回学術集会にて交流集会等の企画の実施、家族支援専門看護師による「よろず相談」の開催、家族看護グッドプラクティスアワード2026の実施を予定していることが説明された。

・教育促進委員会:家族看護の教育ツール【現任教育版】の活用促進、家族看護の教育ツール【基礎教育版】の作成および洗練化、家族看護教育セミナー開催、第33回学術集会での委員会企画の開催を予定していることが説明された。

・国際交流委員会:諸外国の家族看護学学会・研究機関との交流・ネットワーク構築、IFNC18参加・発表に関する会員支援、会員向けの国際交流活動支援・情報提供、国際交流委員会セミナーの開催、メールマガジン・ニュースレターの発行、JARFNの英語版ウェブサイトの更新、JFNとのアブストラクト交換、IFNC18への参加助成金の募集についての検討を予定していることが説明された。

・広報委員会:ホームページを通じた情報発信、年6回のメールマガジン、ニュースレターの発行、会員獲得に向けた他学会等での広報の実施を予定していることが説明された。

・社会活動・政策委員会:看護系学会等社会保険連合における活動、家族看護学に関わる社会活動・政策に関わる情報の収集および発信、家族看護学に関わる社会活動・政策に関わる活動を予定していることが説明された。

・災害対策委員会:国内外で発生している災害や紛争等に伴う理事長からのメッセージおよびこれまでの刊行物やセミナー等での取り組みのホームページ掲載、第 33 回学術集会での交流集会等の企画・実施を予定していることが説明された。

・将来構想委員会:CNS・NP 養成の教育カリキュラムに関する調査結果の分析、教育教材の開発、評議員による活動助成事業の支援を予定していることが説明された。

・総務委員会:学会事業の推進に関わる諸活動・委員会活動の補佐(重点目標5. 医療・福祉・教育領域の多職種と家族看護の概念を共有)、社員総会・会員集会・理事会等の会議体の運営・統制、定款・内規・細則等・規定の整備・管理、学会事務局との連携(予算、会員管理、選挙管理委員会との連絡調整等)を予定していることが説明された。

・利益相反委員会:本学会の会員・役員・各種委員・学術集会長等の適切な利益相反管理、役員・各種委員等のCOI 申請書の集約、利益相反審査依頼への対応を予定していることが説明された。

・Covid19 プロジェクト:調査結果の公表を予定していることが説明された。

・選挙管理委員会:評議員および役員選挙結果の理事会報告および総会報告を予定していることが説明された。

## 2. 総務報告

### 2-1)2026 年予算

・山本真実理事(会計担当理事)より、資料 7 に基づき、2026 年度予算案について説明があった。

### 2-2)会員・会費納入状況

・浅野理事より、資料 8 に基づいて 2026 年 4 月 30 日現在の会員数は 1346 名、そのうち 595 名より 2026 年度の会費支払いがあったと報告された。

・浅野理事より、3 年会費未納で退会する会員が多く、全体の会員数がやや減少傾向にあることが課題である旨が報告され、次期役員体制に会費納入の督促等含め、対策を検討していただきたい旨が説明された。また、所属異動後、住所変更の届けがない場合、学会からの連絡が滞るため、登録情報の変更を会員へ呼びかけることも継続して実施する旨が説明された。

・荒木理事長より、今年度は未納会費に関するお知らせをメール配信等でも実施したが功を奏さず、退会届の未提出者を追跡するにも限界があり、対策を検討する段階にある旨が説明された。

### 2-3)2025 年度理事会報告

・浅野理事より、資料 9 に基づいて 2025 年度は 5 回の定期理事会、1 回の臨時理事会、第 32 回学術集会にて会員集会を開催したことが報告された。

## 3. 第33、34 回学術集会の進捗

### 1)第 33 回学術集会報告(資料 10)

・瓜生学術集会長より、資料 10 に基づいて、演題の受け付けが完了し一般演題 113 題、交流集会 23 題が集まったことが報告された。

## 2)第 34 回学術集会報告

- ・池田学術集会長より、第 34 回学術集会についての報告が行われた。
- ・会期は 2027年 8 月 28日、29日を予定しており、場所は「TFT ビル」で行う予定であることが報告された。
- ・学術集会のテーマは「ゆらぎを抱えながら、変わりゆく家族とともに」であることが報告された。

## 4. 第35 回学術集会長の選任

- ・荒木理事長より、第 35 回の学術集会長については、内正子氏が担当されることが報告された。

## V. 閉会の辞

- ・荒木理事長より閉会の挨拶があった。以上をもって定時総会の議案審議が終了したことが宣言され、閉会した。

2026 年 5 月 31 日

議長

荒木 暁子



議事録署名人

影山 葉子



議事録署名人

杉浦 太一

